

あいち通信

第四十五号 平成二十五年五月
日本会議 愛知県本部 事務局
052-1763-4678

報告・日本会議平成二十五年度総会、開催さる

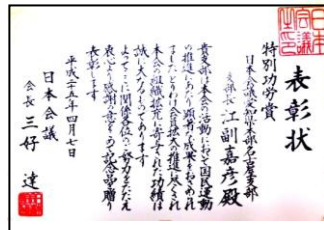
去る四月七日(日)十五時より、前日の風雨がうそのごとく晴れ渡った空のもと日全国より五百名を超す同志が結集し「日本会議平成二十五年度総会」が東京・永田町海運クラブ「国際会議場」で開催された。参加者の中には、皇居清掃奉仕を終えてのブラジル支部の十数名の参加が目を引いた。愛知県本部からは、私を含め五名、名刺広告みでの参加三名が、参加した。三年振りの総会である。開会に先立ち、三年間の日本会議の多岐にわたる国民運動の足跡を大型スクリーンに映写されその成果が確認された。

三好会長よりの主催者挨拶

最後に憲法の壮途に立ち上ることが強く結んだ。十五時十分本部役員・日本青年協議会代表の中山氏の力強くテキパキとした司会進行で進められていった。国歌斉唱、日本会議綱領唱和に続き、三好会長よりの主催者挨拶と続く。この三年間の運動を総括された。東北の大震災をはじめとする天災、民主党政権にもたらされた人災と、種々の暗雲が垂れこめた。昨年の衆院選での三百議席に迫る自民党大勝利により誕生した第二次安倍内閣、これを支える超党派五百十名の国会議員のうち、主要なポストに就いている。真正保守政権の誕生である。このフオーロの風、夏の参院選の勝利につなげなくてはならない。中国、韓国、北朝鮮の問題、女性宮家問題、憲法改正、国防軍の創設、まっとうな教育を目指す、真の教育改革等、やるべきことが山積している。日本会議こそこれら問題に対峙し、日本を立ち直らせる運動の中核である。「まずまず組織を拡大して、頑張ろう」と力強く結ばれた。続いて今夏参院選に、日本会議として正式に推薦決定した衛藤晟一氏、有村治子氏両候補に来賓挨拶をいただく。衛藤候補航空機運航野関係で到着が遅れており日本会議国会議員懇談会政審副会長の有村治子氏に先に挨拶いただく。特に女性宮家の問題につき国会質問の成果として民主党政権のいい加減さ、まやかしを露呈せしめることができ、パブリックコメントで、政府見解に大多数が反対となったことにつながったと自負している。今夏参院選では、憲法改正を争点に行くこと必要。皆様に支援いただき、安倍政権を長期政権にすべく、勝利することを決意している。参院選の比例区の場合、政党内では当選が困難。必ず、ありむら治子、衛藤せいいちと個人名を記入いただきたいことを強調していった。安倍総裁の祝電披露に続いて各界よりのご提言として、民間憲法臨調代表の櫻井よしこ氏に登壇いただいた。憲法改正を目指すに何をすべきか。待ちに待った安倍政権により、道が見えてきた。現状は、明治維新の時、大東亜戦争敗北の時より難し局面。大半の国民の心の中から、日本の国柄が忘れ去られている。万世一系の言葉すら消えている。目を海外に向ければ、第二次オバマの内向きに、親中になって来ている。どこまで、いつまで日本の防衛になるのか。習近平中国は民不安をおさえるべく、中国こそ、中国共産党こ



そ世界の上に立つのだと言わざるを得ないため軍事至上主義に走っている。日本は他力本願がどんな大悲劇を生むか。国防軍、軍事力を考える以前に、原点に立ち戻り、日本の国柄を取り戻すことこそが必要。祈り最優先にされてきておられる天皇を中心に、その下に、貴族、武士、政治家。この間がうまく機能しあう。これが日本の国柄の基本。しかし戦後、祭祀は、公務でなく皇室の私的行事としてきてしまった。この精神的支柱を、憲法上も法律上も明確に打ち立てて初めて他国に対してもこの国を守ると明言してはばからぬのです。まずは九十六条改正を。まさに潮目は我々に来ています。国民の信任厚い安倍政権、自主憲法制定を党是としている自民党が与党の間、一、二年の内に動きをかけるよう頑張りました。次に前沖縄県名護市長の島袋吉和さんから普天間の辺野古埋立て地移設推進は十五年ほど前から動いているのに沖繩のマスコミは反対運動しか取り上げない。①憲法改正めざす国民運動②尖閣諸島を守る国民運動③盤石の皇室制度をめざす国民運動④教育改革をめざす国民運動⑤英霊追悼や拉致・領土問題などに取り組む国民運動⑥草の根運動を推進する組織拡大運動(全国に都道府県本部設立し会員十万人拡大。全国三百小選挙区すべてに支部設立。全国に三千名の地方議員、四十七都道府県に議連本部設立。全国に女性会員を拡大し、四十七都道府県に女性会員本部設立。日本会議国会議員懇談会幹事長 衛藤晟一氏が到着されたのでご挨拶いただく。学生時代からこの憲法は、何とかしないと日本の将来は危ういと思ひ、政界入りし頑張ってきました。その間自民党が崩壊寸前になつたがこらえた。自主憲法制定を党是としても本気で取り組む議員は少ない。本気でその意志を持つておられる安倍総裁をトップにいただくことができた今、決してこの機を逃してはいけません。何としてもやりぬく思いで参院選にも臨むの強い決意を全身にみながらせていた。この後、日女性会の会運営委員長植原さんより誌友拡大につき意見発表あり。純粹そのものである。次に今年度表彰式があった。我が名古屋支部が年間通して新規会員拡大に功績を挙げたとして二番目に表彰を受けました。これには、今年度個人部門で上位表彰の服部さんの頑張りが、非常に影響しているといえ、喜ばしいことで、「あいち通信」読んでおられる皆さんとも喜びを分かち合いたいものです。最後に日本会議副会長の小田村氏の音頭で、聖壽万歳で無事終わりました。この後懇親会にも参加し、学生時代、民族派学生グループと言われながら共に日本国の国柄を尊び、周りにも伝える活動をしてきた仲間とも旧交を温めることもでき有意義でした。会場に開会一時間前に着いたので、荷物預け、靖国神社に参拝してきました。いつ行っても気持ち良い空間ですね。満足した時間を過ごせました。(名古屋支部長・江副 嘉彦・記



表彰状

●愛知県護国神社清掃奉仕予定
五月五日午前八時開始、九時終了。六月二日、七月七日を予定しております。尚、六月から八月までの夏季は午前七時開始です。軍手を必ずご持参下さい。また、小雨なら社屋の木枠拭き掃除しますので雑巾を持参下さい。大雨は中止になりますが、疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、お電話下さい。(0909064666115992)

●日本の息吹を引き続き「継続下さいませ」を願っています。